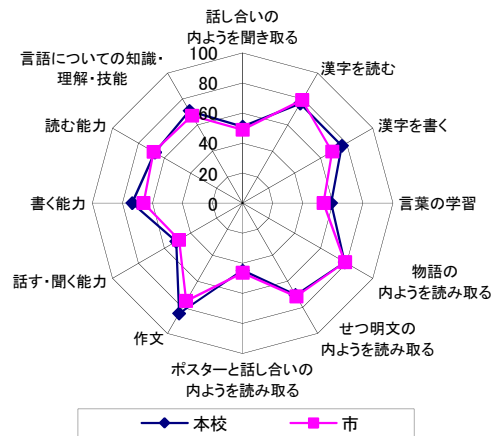


宇都宮市立宝木小学校 第4学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	51.1	48.8
	漢字を読む	76.6	79.3
	漢字を書く	76.3	68.8
	言葉の学習	58.9	53.8
	物語の内ようを読み取る	78.5	78.7
	せつ明文の内ようを読み取る	70.5	71.6
	ポスターと話し合いの内ようを読み取る	44.8	46.3
	作文	84.7	75.1
	話す・聞く能力	51.1	48.8
観点別	書く能力	73.5	65.9
	読む能力	67.4	68.4
	言語についての知識・理解・技能	70.8	67.2



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	話の中心に気をつけて聞き取ることや、互いの考えの相違点や共通点を考えながら進んで話し合おうとすることは、市の平均を3ポイント程度上回っている。	日常の学習指導において、先生や友達の話をよく聞くことを重点に指導してきた。今後はさらに聞き取った内容から自分の考えと比べたり、質問したりできるように支援していく。
漢字	漢字の読みは市の平均を3ポイント下回っているが、漢字の書きは市の平均を8ポイント上回っている。読みについては3・4年生で習った字から、書きについては3年生で習った字から出題されている。	漢字の学習では、書き順や字形を指導したり誤りやすい事例を挙げたりして、漢字の読み書きが正しくできるようにしていく。前学年で習った漢字についても繰り返し練習させるとともに、小テストを実施して、定着の度合を確認していく。
言葉の学習	連体修飾語や漢字辞典の使い方の問題は市平均を10ポイント以上上回っている。しかし、連用修飾語やことわざの問題は誤答が多く、正答率は市平均を2ポイント下回っている。	連用修飾語については、取り出して練習問題を解いていくようにさせる。また、ことわざについてはもう一度復習をして、その言葉からできた由来を理解したり、短文作りをしたりして習得させていく。
物語の内ようを読み取る	登場人物の気持ちを読み取ったり、場面の様子や登場人物の気持ちの変化を読み取る問題は市の平均並みによくできている。	物語文では、話の筋がつかめるように音読を繰り返し行うようにする。また、登場人物の様子や気持ち、場面の様子が正しく捉えられるように、文章を読みながらそれが書かれている箇所にサイドラインを引いていくようにする。読書活動を多く取り入れたり、読書会の時間を設けたりするなど本と親しむ機会を増やしていきたい。
せつ明文の内ようを読み取る	細かい点に注意して文章を読み取ったり文と文のつながりに注意して文章を読むことは市の平均を2ポイント上回っている。しかし、目的や必要に応じて読み取ることは市の平均を3ポイント程度下回っている。	説明文の形式について理解させるとともに筆者の意図をきちんと読み取らせるようにする。また、接続語や指示語に着目させて、文章のどの部分を指しているかなど、文脈に合った内容を考えさせていく。それから、説明文の載った本を紹介して児童に読ませる活動を取り入れていきたい。
ポスターと話し合いの内ようを読み取る	資料を読み取って、適切な言葉を使って文を書き直す問題は、作文の能力とも関わる応用力の必要な問題であるが、市の平均を3ポイント程度下回っている。	資料を読み取り、状況を判断した上で文を書き直することができるよう、作文の基礎力を身に付けさせたい。そのために総合的な学習や社会などをはじめとして、常時指導によって習熟を図っていく。
作文	指定された長さで文章を書いたり、二段落構成で文章を書いたりすることはよくできており、市の平均を20ポイント上回っている。自分の意見とその理由を区別して書くことは市の平均並である。トータルすると市の平均を10ポイント程度上回っている。	指定された条件をよく守り、自分の意見を持った上でわけが説明できるように文章を書く練習を行うようにする。